

大学

企画課管理用 研 一 D 一 1

推進主体	学長室広報センター
責任者	学長室部長

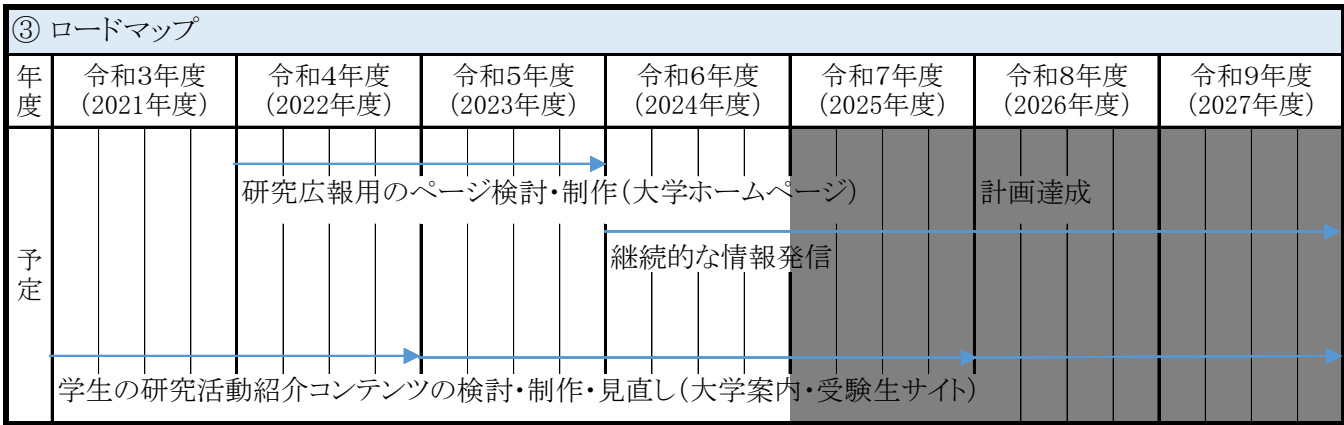
分類			実施計画	開始年度	完了年度	将来的な継続
研	一	D	①研究広報の強化(アウトリーチ、オープンサイエンスへの対応を含む)	令和 4 年度	令和 6 年度	あり(予定)

① 目的・内容

教員の研究成果については、プレスリリースやニュースリリース等で、その都度速やかに情報を発信しているが、時間の経過とともに情報が埋もれてしまう状況にある。そのため、ホームページで研究広報に関するページを制作し、情報を整理して見やすくするとともに、アウトリーチ活動等も含めた情報を集約することで、研究広報の強化につなげる。また、教員だけでなく、学生が携わる研究内容について、大学案内やホームページ等においてわかりやすく発信し、本学の研究活動を身近に感じてもらえるような広報を展開する。

② 到達目標(数値目標/定性目標) ※数値目標を設定できない計画は、定性目標を設定すること。

大学ホームページに研究広報用のページを制作し、継続的な情報発信を行う。また、大学ホームページや大学案内において、学生の研究活動を取り上げたコンテンツを制作する。



④ 数値目標の詳細 ※設定できない計画については記載不要。

指標の名称		指標の定義(計算式/説明)					
1	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標							
実績							
2	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標							
実績							

⑤ 実施計画／実施報告		
年度	実施計画	実施報告／今後の課題
（ 令和4年度 ）	大学ホームページの研究広報用ページの制作に向けて、方針や内容、今後の運用を整理し、構成を検討する。	次年度の大学ホームページのリニューアルに伴い、研究に関するページの制作を進めている。研究支援センターと連携し、情報を整理するだけでなく、ページの内容を充実させることで、研究広報の強化につなげることを目指している。リニューアルした後の運用や取り組みについても引き続き検討する。 ★進捗段階:「実施展開」
（ 令和5年度 ）	令和5年7月に大学ホームページのリニューアルを予定しており、研究に関するページについても、スケジュールに沿って制作を進める。リニューアル公開した後は、継続した情報発信を行い、安定した運用ができる体制の構築を目指している。	令和5年7月に大学ホームページのリニューアルを行い、「研究」に関するページの見直しを行った。情報を整理して見やすくするだけでなく、新たにニュースやイベントの告知欄、研究活動を紹介するコンテンツを設け、情報発信を強化している。 引き続き安定した運用体制の構築に取り組む。 ★進捗段階:「展開完了」
（ 令和6年度 ）	研究広報の強化に向けて、研究活動や研究成果、充実した研究環境について、継続的に情報発信を行うとともに新たな展開についても検討する。 ・大学ホームページのニュース、イベントの発信 ・ニュースリリース、プレスリリースの発信 ・大学ホームページのコンテンツ（「Discover」、「研究Pick up」）の更新 ・各種媒体での情報発信	研究広報における情報発信の強化に取り組み、大学ホームページの「研究ニュース」では、前年度と比較し、倍のペースでニュースを掲載している。また、新たに立ち上げた大学ホームページの「研究Pick up」や「Discover」、リニューアルした受験生サイト「intro!」では、教員や学生の研究内容を紹介する記事を積極的に掲載しており、運用体制を整備した。 ★進捗段階:「計画達成」

⑥ 計画の成果・今後の方針 ※計画を中止する場合はその理由を記載のこと。	
1. 計画の成果	大学ホームページのリニューアルに伴い、研究に関する情報の集約や新たなコンテンツの制作、大学案内との連携等によって、研究広報の情報発信力を強化することができた。リニューアル後は、各コンテンツを継続的に更新し、安定的な運用が実現できていることから、本計画は終了する。
2. 今後の方針	研究広報については、大学の研究活動の魅力を継続的に発信し、社会と繋がり続けるための重要な取り組みであることから、引き続き効果的な取り組みを模索しながら、その強化に取り組む。なお、広報センターが行っている研究広報は、一般向けを中心としており、研究者や研究機関、企業・行政に対しての広報活動については、研究支援センターとの関係が強くなるため、本計画とは別の位置づけとして、今後の課題とする。
※計画完了時点で記載してください。 ○・・・必須事項 △・・・必要に応じて記載 ○②到達目標に対する結果 ○計画の中止理由（※中止する場合） △今後の見通し・課題（通常事業化など） △その他	